

作成日：2026年2月18日（第1.0版）

2023年4月から2026年1月までの期間に

名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院へ入院した方へ

「入院患者における注射用抗菌薬適正使用の

多面的評価指標の構築に関する後ろ向き観察研究」への

ご協力のお願い

1 研究の概要

【研究の背景・目的】

感染症の治療に使用する抗菌薬が効きにくい細菌が増えることは、世界的な課題です。そのため日本でも、抗菌薬を適切に使用し、その使われ方を調べて継続的に見守ることが求められています。医療機関がこの取組を進めるためには、院内で抗菌薬がどのように使われているかを、数字で分かる形にして定期的に確認する仕組みが必要です。

本研究では、名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院（以下、当院）で入院中に使用された注射の抗菌薬について、使用量や使用日数などの集計結果に加え、広い種類の細菌に効く抗菌薬がどの程度使われているかといった観点も含めて、院内での使われ方を多面的に把握します。さらに、患者さん一人ひとりの体の状態に合わせた薬の量の調整が適切に行われているかという観点もあわせて確認し、抗菌薬の使用状況をより分かりやすく継続的に見守るための枠組みを整えることを目的としています。本研究により、抗菌薬の使用状況を複数の観点から継続的に見える形にすることで、改善が必要な点を把握しやすくなり、院内の取組の充実や、より安全で適切な治療につなげることが期待されます。

【研究の対象となる方】

2023年4月1日から2026年1月31日までの期間に当院へ入院し、入院中に注射用抗菌薬を1回以上投与された患者さんを対象とします。

【研究期間】

この研究の実施を許可された日から西暦2029年3月31日まで

ご自身またはご家族がこの研究の対象者に該当すると思われる方で、ご質問等がある場合は、「7 相談やお問合せがある場合の連絡先」へご連絡ください。また、情報をこの研究に使うてほしくない場合もご連絡ください。その時点であなたの情報を研究対象から取り除きます。ただし、研究の進捗状況によっては、あなたの情報を取り除くことができない場合があります。

この研究は、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会の審査を受け承認されたうえで、研究機関の長から実施の許可を受けています。また、この研究が適正に実施されているか、継続して審査を受けます。

この委員会にかかわる規程等は、以下の Web サイトでご確認いただけます。

【名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター “患者の皆様へ”】

URL : <https://ncu-cr.jp/patient>

2 研究の方法

この研究では、研究対象の方の診療情報を電子カルテと、医療機関が保険診療の費用を請求する際に作成される診療報酬データから収集して利用します。当院においてデータをとりまとめ、集計・解析を行います。これらの情報は、当院が責任を持って管理します。

本研究で取得した情報を、将来、当院において、注射用抗菌薬の適正使用支援（ASP）の評価・改善、ならびに抗菌薬使用状況（使用量、スペクトラム、投与量調節の適切性）と関連する臨床指標との関連を検討する研究に使用する可能性があります。その場合には、改めてその研究計画について倫理審査委員会に意見を聴き、研究機関の長の許可を得たうえで研究を開始します。また、その研究に用いる際には、名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院の Web サイト (<https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/midori/section/rinnsyou/>) に研究についての情報を公開し、研究対象者が拒否できる機会を保障します。

3 この研究で用いるあなたの試料・情報の内容について

この研究では、あなたが入院された際の以下の情報を利用します。

入院日と退院日、入院中の在院日数、入院した病棟、注射の抗菌薬の使用状況（薬の名称、使用した日、量と回数）、血液検査の結果の一部（血清クレアチニンの値と測定した日時）、体重と身長（値と測定した日時または測定日）、生年月日、性別、診療科、処方した医師に関する情報

4 研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院が単独で実施します。

研究責任者：名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院感染制御室 主査 工藤正治

5 個人情報等の取り扱いについて

あなたの情報は、氏名等の個人を特定する内容を削除し、代わりに符号をつけた状態で取り扱います。また、この研究の成果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、その際も、そこに含まれるデータがあなたのものであると特定されることはありません。

6 この研究の資金源および利益相反について

企業等の関与により研究の公正さが損なわれる可能性がある状態のことを、「利益相反」といいます。企業等から研究資金の提供を受けている場合等には、利益相反を

適切に管理する必要があります。

この研究は資金を必要とせず、企業等からの資金の提供はありません。利益相反の状況については、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。

7 相談やお問合せがある場合の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究の計画について詳しくお知りになりたい場合は、研究に参加している他の方の個人情報や研究の知的財産等に影響しない範囲で、資料をお渡ししたり、お見せしたりすることが可能です。

また、この研究にあなたの情報が利用されることを希望されない場合は、電話によりご連絡ください。

【連絡先】

名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院 感染制御室

電話番号： 052-892-1331

（対応可能な時間帯） 平日 9時から 17時まで

対応者： 工藤 正治